

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院肝臓科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

1996年1月～2023年12月までの間に、B型慢性肝炎または肝硬変のために虎の門病院あるいは虎の門病院肝臓科に入院・通院し、抗ウイルス療法（核酸アナログ製剤）を受けられた方

【研究課題名】

B型肝細胞癌症例における、核酸アナログ製剤投与による再発抑制効果

【研究の目的・背景】

《目的》

B型肝細胞癌症例における、核酸アナログ製剤投与による再発抑制効果を明らかにすることです。

《研究に至る背景》

核酸アナログ製剤の登場で、HBVの長期コントロールが可能となり、肝機能改善や肝線維化進行抑制効果は既に報告されていますが、発癌抑制効果に関しては未だ不明な点が多いです。核酸アナログ製剤使用が最も推奨される症例を抽出する事により、肝発癌抑制が得られると考えます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年5月18日～2027年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院・虎の門病院分院共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院肝臓内科 虎の門病院分院肝臓内科保坂哲

也のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 年齢、性別、既往歴、飲酒歴、画像検査、血液検査等

【研究代表者】

虎の門病院分院肝臓内科 保坂哲也

【虎の門病院における研究責任者】

肝臓内科 芥田憲夫

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2027 年 11 月 30 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 肝臓内科 保坂哲也

電話 03-3588-1111(代表)